

# NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットワークの活動理念

## 1. 会員の活動の基本は次の3つである。

- ①会員の活動は、基本的にボランティアである。但し、必要に応じて報酬等を受けることはできる。
- ②各出身組織での活動の充実を目指すものである。
- ③教育の協働の推進をモデル的、先導的、支援的に行う組織である。

## 2. 会としての活動をする場合は、プロジェクト事業として規程に従って事業区分に分類して実施することとする。その際、次の事項を遵守することとする。

- ①会としての事業を行う場合は、様式に従って事業概要書を事務へ提出し、理事会で協議の上、承認を得た後に行うこととし、会の実績とする。  
但し、会の目的から鑑み、発展的な活動は会員自らの実績として拡充することを奨励する。
- ②会としての活動は、会の予算を活用し、会の実績として行う。  
但し、会の目的から鑑み、発展的な活動は会員自らの実績として拡充することを奨励する。
- ③会としての活動は、会の方針に沿って行うこととし、会の実績とする。  
但し、会の目的から鑑み、発展的な活動は会員自らの実績として拡充することを奨励する。

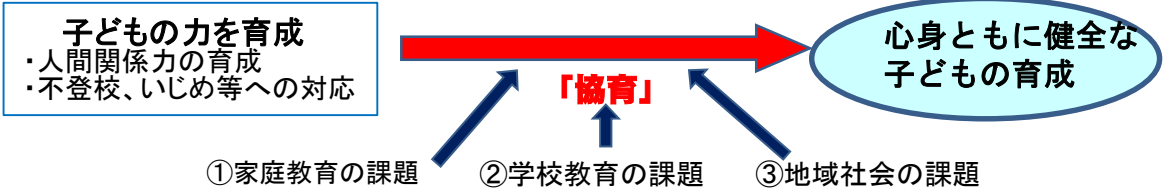
## 3. 理事会は本会の目的から鑑み、次の事項を遵守する。

- ①本会の目的は、教育の協働を推進するために民間の視点から地域貢献を行うことを基本にした運営を目指す組織である。
- ②本会は、会員の出身組織での活動の充実を支援する組織である。
- ③本会の活動は、教育の協働の推進を指導的、モデル的、先導的に行う事業を行う組織である。

## 4. 事務局は本会の目的から鑑み、次の事項に関する情報の収集・整理を行うと共に、事務的、予算的な支援、及び、活動の成果の普及を行う。

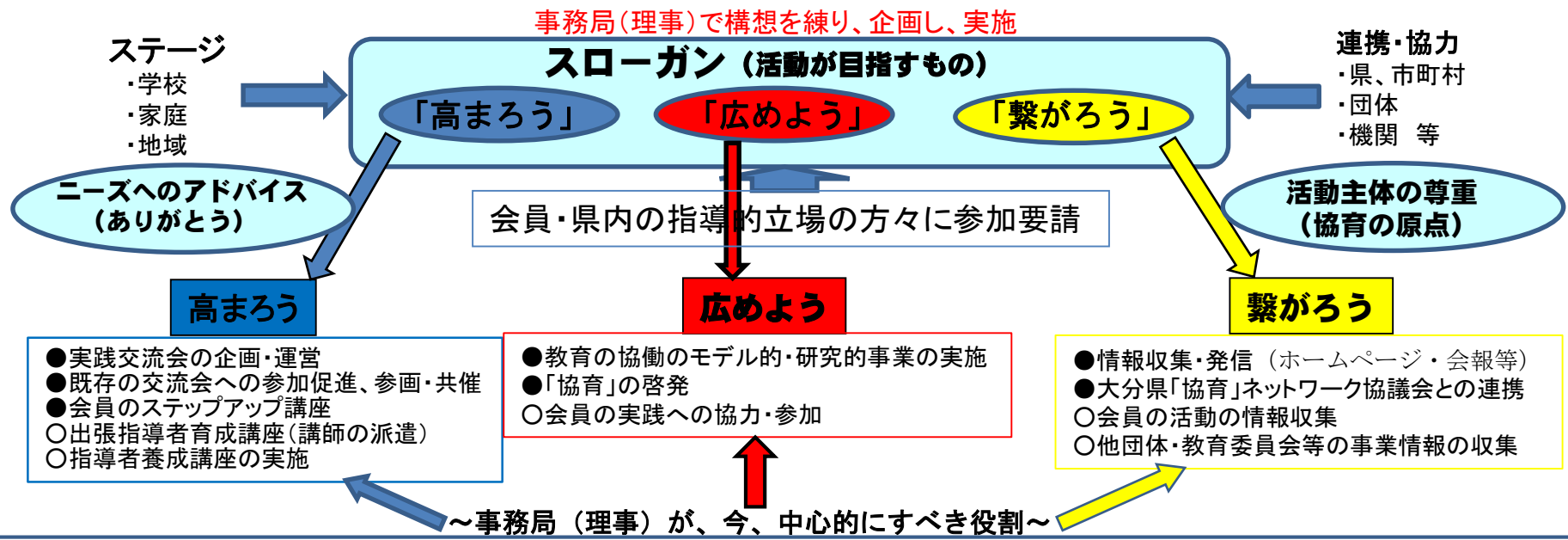
- ①本会の運営に関する提案、会議の運営、予算の確保と執行を行う。
- ②会員の出身組織での活動の充実を支援する。
- ③本会の各活動を充実するための支援を行う。
- ④本会の広報、活動情報の収集・提供、県内外のネットワーク化等の事業を行う。

1. NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットの立ち位置は？



- ～NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットの役割～
- ①地域にある人的・物的・文化等の教育資源の掘り起こしと整理、及びネットワーク化を進めます。
  - ②教育の協働を進める中核としての人材であるコーディネーターの育成・支援、活動へのアドバイスなどを行います。
  - ③地域で行われる子ども達への様々な活動の展開をモデル的に示すことや、人材・プログラム等の情報の提供・発信を行います。
  - ④会員及び県内の指導者が地域で行う様々な実践活動への協力や、指導者相互の交流の場を設定します。

2. 活動の柱の構造は？



- ～事務局(理事)が、今、中心的にすべき役割～
- (1) 会員の地域での活動状況の把握
    - 計画的に会員訪問を行って情報を収集し、アドバイスするとともに、その活動を全会員や県内の指導者へ広報
  - (2) 市町村(行政や団体等)の取り組みの把握
    - 組織や活動内容、実績等を把握し一体的な研究・情報提供

推進

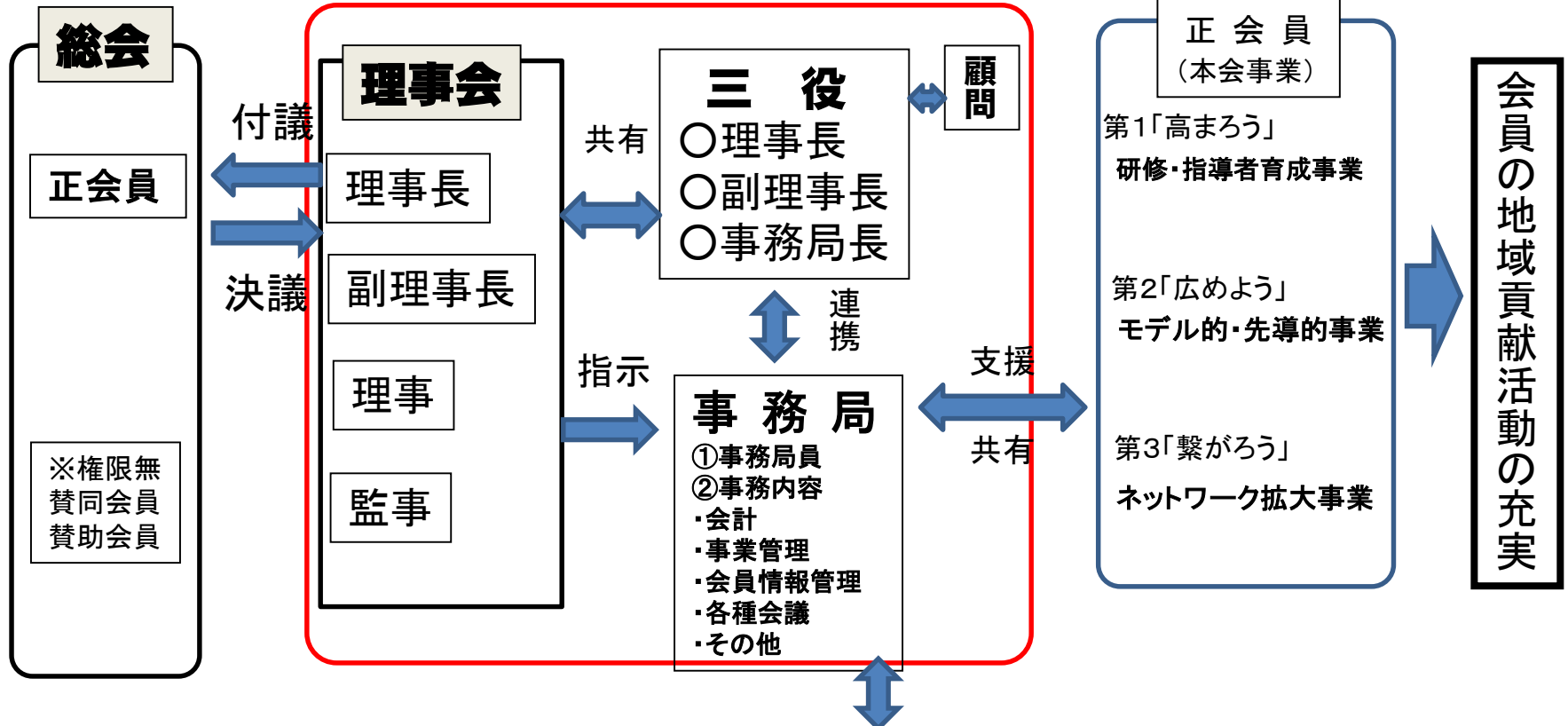
- (1) 会員同士のネットワーク化
  - 事務局と会員、会員同士が情報を共有することによって相互の連携・協力、更に地域の仲間とのネットワーク化の推進
- (2) 県・市町村教育委員会との連携、協力
  - 「協育」に関する取り組みなどを整理し、県および市町村教委と連携した各種研修への参加、協力

# NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットの組織と活動の仕組み

※2013年度改正

## =運営機関=

## =実施事業=



- ①本会の会議、人事等の運営に関する事務
- ②本会の予算・経理に関する事務
- ③会員及び本会の事業に関する支援事務
- ④本会の広報及び情報収集・提供に関する事務